



少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少するなど、社会の変化に対応していく上で、女性も男性も、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現は、社会全体で取り組むべき我が国の最重要課題となっています。

多様性のある組織を築くことは、時代の変化に対応し、多種多様な市民ニーズに応える政策形成につながるものであり、その多様性の一つとして、女性が意欲を持って、その能力を十分に発揮しながら、政策決定過程に参画できる環境を整えていくことは、重要な意味を持つものと考えております。

北海道市長会 会長 山口 幸太郎（千歳市長）

千歳市では、子育てや介護等の家庭生活との両立については、女性職員に限らず、全ての職員が一丸となって取り組む組織全体の課題として、ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、女性職員が女性リーダーとしてのスキルアップを目指すキャリアデザイン研修や、将来の幹部職員を育成する高度教育機関への派遣など、能力開発、人材育成の充実を図り、女性職員が働きやすく、生きがいと誇りを持って活躍できる職場環境の整備を進めております。

また、第3次ちとせ男女共同参画推進プランを平成29年度から令和8年度までの10年間を計画期間として策定しており、男女があらゆる分野で活躍できる社会の実現を目指すことを目標として、意識づくり、家庭づくり、職場づくり、地域づくり、推進体制の充実の5つを基本方針とし、各種施策に取り組んでいるところであり、6月を『ちとせ男女共同参画月間』と定めて、広く市民に男女共同参画に関する意識啓発を行っています。

今後も「男女が対等なパートナーとして認め合い尊重し、支えあえる男女共同参画社会の実現」を目指してまいります。

北海道市長会について

北海道市長会は、道内35市の市長により構成する団体で、道内各市間の連携・協調を図り、市政の円滑な運営に寄与することを目的に活動しています。

主な事業としては、共通する行政課題に関する調査研究や政策提案、国等の関係機関への働きかけなどを実施しており、引き続き、北海道の発展に貢献できるよう力を尽くしてまいります。